

①アドボカシー、してる？

大人が子どもには権利の行使ができることを認識する

周知が必要

心がけるけれど難しさも感じる

技術が必要

子どもと一緒に考えている

こちらが聞きたいとき、子どもは話したくないとき

自分が言えなかった分、心がけている

自己満足だったと反省

先に親が言葉に

十分ではないが心がけて

役割分担ができるといい

しているけれど、できているか

練習を通して話してくれるように

落ち着いて待つ

聴いているよの姿勢

話を聴く大切さに最近まで気づけていなかった

聞いていたつもりだった

会話から気持ちを知ること

大人が聞く姿勢、態度、テクニック身につけなければ

ほかの方から「聞こうとして偉い」と

自分の調子による

気持ちの持ち方が必要

子どもの意見を誘導しようとするところがある

反省

大人にもしている

うっかり自分の主張ばかり

孫との会話

わが子だけでなくいろいろな人に対して練習中

子どもが話すのを待たないと、と反省

できるときとできないときが

孫との時間は心がけている

心がけているが、いつもはできていなかなか

自分がされてこなかったから難しい

最近まで気づけていなかった

職業柄、頻繁にしてる



②アドボカシーを知って、アドボカシーを試して

お兄さんお姉さんのようなアプローチは大事

心に余裕が持てるように

会話が増えた

第三者とのコミュニケーションは大事

支配しようとして、わかって、ゾッと

元々やっていたことに名前がついた感じがした

子どもと話せると私自身が嬉しい

機会が少ない子どもも多いと感じている。

身近であればあるほど難しい

子どもの成長にとって糧に

しっかり話を聞けるように

孫は気持ちの切り替えができるように

”気持ち”を聞いた時、こちらも嬉しくなった。

「自分のことを大切にしてくれてありがとう」

バアバと会うのを楽しみにしている

会うと、子どもが途端に話始める

子どもからのフィードバック

子どもはどう感じているかはわかりません。

「話を聞ってくれる人」「気持ちを分かる人」に

アドボカシーの考えで正当化された気が

ちょっとしたことでも話してくれるのが嬉しい

コロナ禍で機会が少なくなっているのでは？

こちらの聞いてたつもり

息子からは「全然聞いてくれない」

子どもの自己肯定感・達成感が育っているようだ

もう少し話していきたい。

身近であるほど難しい

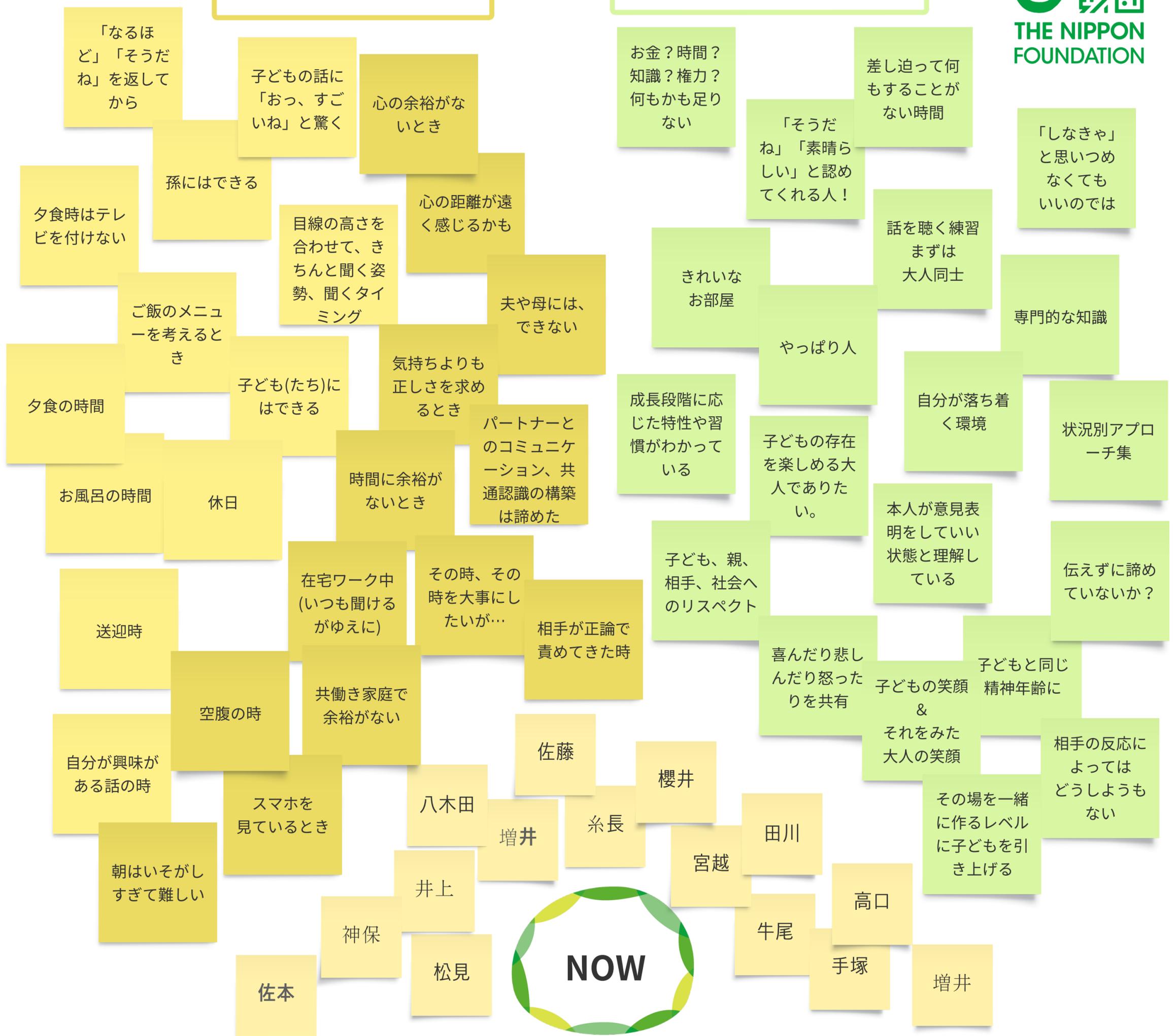
大人も聞いてくれる人が少ない

③-a アドボカシーする時

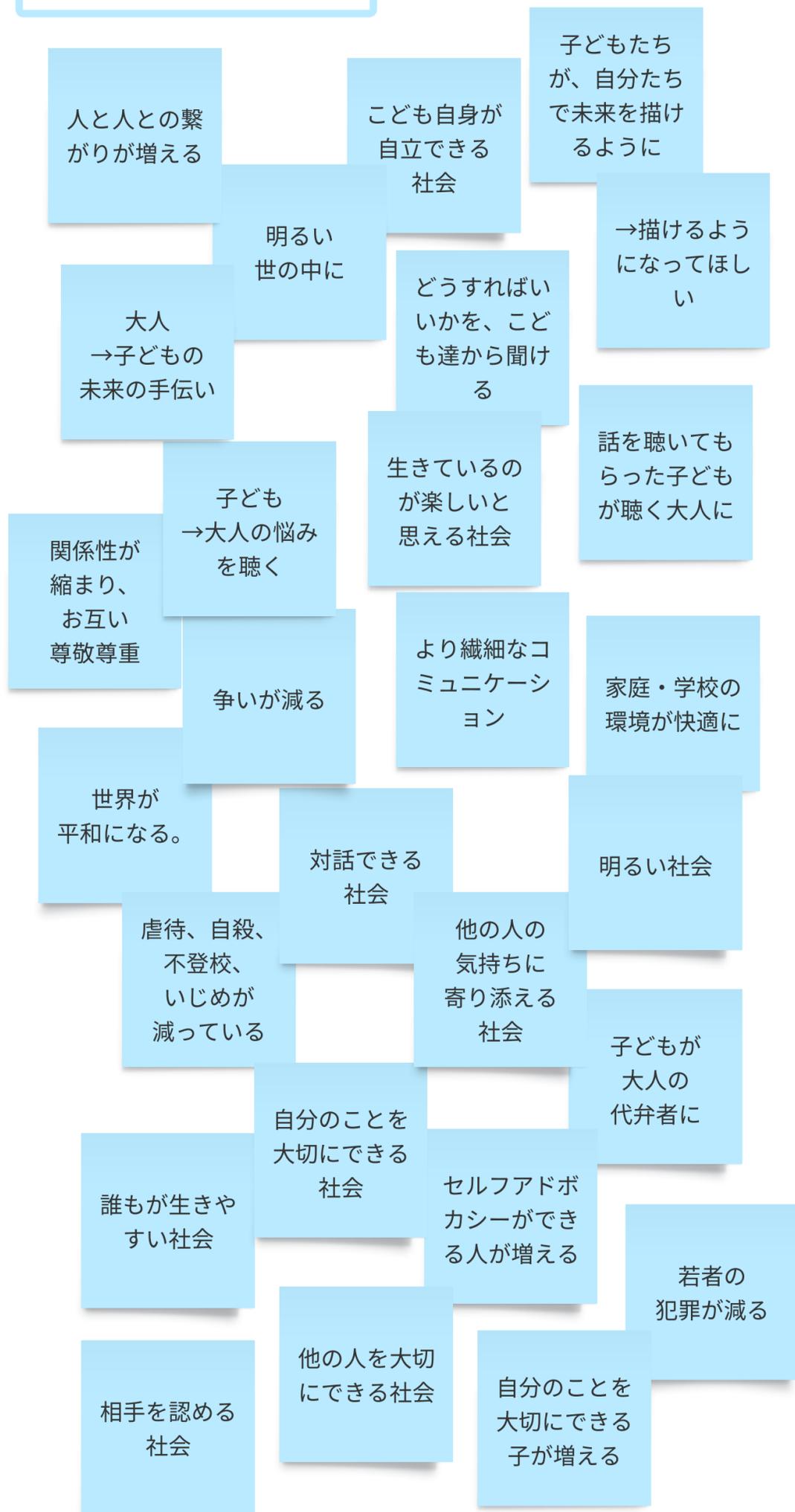
③-b アドボカシーしない時

④こうであれば…

私、もう少しアドボケイト



⑤子どもの声を聴いて
広がる未来



⑥明日、これやってみよう！

